

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	サイバネティクス・リアリティ工学 (清川 清 (教授))		
学籍番号	1911119	提出日	令和 3年 1月 25日
学生氏名	鹿内 裕介		
論文題目	Phantact: Development and Evaluation of an Augmented Reality System to Induce the Proteus Effect in the Real Environment Phantact: 実環境におけるプロテウス効果生起システムの開発と評価		
要旨			
<p>プロテウス効果という、VR (Virtual Reality) 環境で使用するアバタの見た目によってユーザの態度や行動が変容する心理効果が知られている。心的障害や社会問題の解決に寄与する可能性が考えられるプロテウス効果であるが、VR環境でのみ検証されており実環境における同効果の検証事例はまだない。また、既存手法ではプロテウス効果の生起のためにユーザがアバタの姿を一人称視点で確認するための仮想鏡を用いる必要がある汎用性の低さと、持続時間の短さが指摘されている。そこで本研究では、プロテウス効果を実環境でも生起可能であるか、効果を生起させる手法として三人称視点の有効であるかの二つの問いを解明する。問いを解明するために、AR (Augmented Reality)システムとしてPhantactを提案・実装した。Phantactは、実環境でユーザの姿をアバタ化し、その様子を三人称視点で観察させることで、実環境でプロテウス効果を生起することを目指したシステムである。Phantactを用いて、本研究の問いを解明するための実験を行った。結果から、実環境においても、VR環境と同様にプロテウス効果が生起可能であると示唆された。また三人称視点も、プロテウス効果を生起させる上で有効な手法であることも示唆された。</p>			